



資料4

令和5年度災害医療対策会議 報告事項 ア(ウ)  
**令和5年度関東ブロックDMAT訓練  
(災害時小児周産期リエゾンからの報告)**

神奈川県災害時小児周産期リエゾン会議

令和6年3月19日

# 1. 2023年度の活動の振り返り（関東ブロックDMAT訓練への参加）

## ○訓練参加イメージ

県庁：保健医療調整本部



- ①リエゾン本部の立ち上げと運営
- ②災害医療コーディネーター・統括DMAT・県担当者との連携
- ③活動拠点リエゾンとの連携確立
- ④小児、周産期医療施設の情報収集と集約  
(産科はPEACE、小児・新生児は施設入力シートを使用)
- ⑤リエゾン業務の引き継ぎ訓練
- ⑥富士山噴火時の方針決定

情報共有・連携

- ・ リエゾンメーリングリスト
- ・ LINE
- ・ PEACE

DMAT活動拠点本部



- 25日
- ・ 川崎市立川崎病院
  - ・ 横浜市大センター病院
  - ・ 藤沢市民病院
  - ・ 横浜市民病院
  - ・ 横浜市大附属病院

- 26日
- ・ 北里大学病院
  - ・ 小田原市立病院

- ①県調整本部リエゾンとの連携
- ②DMAT活動拠点本部との連携
- ③ブロック内小児、周産期医療施設の情報収集
- ④ブロック内小児、周産期医療施設の支援調整
- ⑤富士山噴火時の方針決定

# 1. 2023年度の活動の振り返り（関東ブロックDMAT訓練への参加）

## ○主な成果

- ・ DMATとの連携を確認できた
- ・ リエゾンを経営DMAT活動拠点本部に配置する有用性を確認できた  
(課題に早く対処できる)
- ・ 院内の他部署との連携を確認することができた

# 1. 2023年度の活動の振り返り（関東ブロックDMAT訓練への参加）

## ○主な課題（1/2）

- ・ **リエゾン活動全般**

事前準備の充実：具体的な活動マニュアルや使用する物品など

情報共有方法の検討：PEACE・LINE・ML・ZOOM等の活用方法の検討

小児分野の情報収集エクセルシートの内容の検討

液体ミルクの備蓄体制と発災時の手順の検討（県・市町村との調整要）

医療的ケア児への対応

リエゾン技能維持研修の必要性：地域の小児周産期領域全般についての情報共有が必要

# 1. 2023年度の活動の振り返り（関東ブロックDMAT訓練への参加）

## ○主な課題（2/2）

- ・ **DMAT拠点本部**

DMATとの意思疎通

DMAT活動拠点本部でのリエゾンの役割の整理・明確化

近隣病院との事前の役割分担

- ・ **平時の啓発活動**

災害拠点病院以外の災害対応への意識向上を促す必要性

- ・ **その他**

富士山噴火の被災想定に基づいた小児周産期領域の対応シナリオの検討が必要

## 2. 2024年度の活動案（政府訓練への参加）

### ○政府訓練への参加

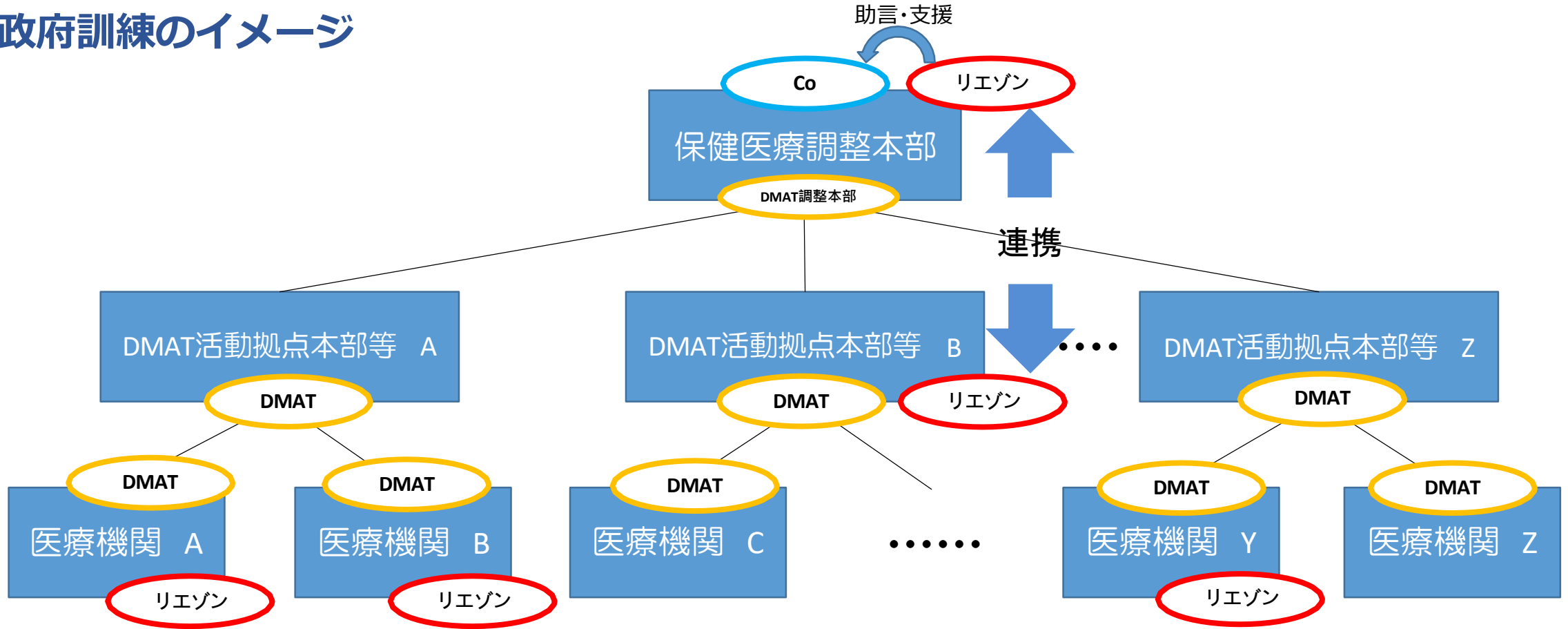
- ・リエゾンをDMAT活動拠点本部に配置する有用性を確認できたことを踏まえ、本部リエゾンとDMAT活動拠点本部の連携確認をテーマに訓練実施したい  
(リエゾン設置要綱の改正等必要な事務手続きは別途対応)

### ○今年度の課題への対応案（概要）

課題	対応案
平時の啓発活動	・神奈川県産婦人科医会と協力して研修会等を企画する
事前準備の充実	・政府訓練前にリエゾン会議を複数回開催し、リエゾン間の情報共有を強化する ・政府訓練の準備段階の当初からリエゾンが参加する (関東ブロック訓練の際はDHCoSから参加)
神奈川県小児周産期リエゾンの体制整備	・政府訓練の成果に基づいて小児領域、周産期領域それぞれの活動ガイドラインの策定・改定作業を進める ・原則としてすべてのDMAT活動拠点本部にリエゾンを配置できる体制を目指して整備を進める

## 2. 2024年度の活動案（政府訓練への参加）

### ○政府訓練のイメージ



- 保健医療調整本部のリエゾンとDMAT活動拠点本部の連携を確認したい

**説明は以上です。**